

(別紙4(2))

事業所名 五根の家・グループホーム

目標達成計画

作成日: 平成 24年 6月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人や家族との日常の会話だけでなく、機会を設けて話し合い、それぞれの意見やアイデアを聴き取り、更により良い介護計画を作成して実際の支援につなげていく事が必要。	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人や家族と機会を設けて話し合い、それぞれの意見やアイデアを聴き取り、更により良い介護計画の作成とそれに基づいた支援につなげていく。	本人の日々の様子について、写真や電話等での報告だけでなく、毎日の生活状況を記載した複写式の連絡帳を用意して家族に送付する。面会時や電話などでのやり取りに加えて送付した記録を基にして、定期的または必要に応じて話し合いの場を設けて今後の支援につなげていく。	3～6ヶ月
2	1	スタッフ全体で理念の共有を行い、理念に沿った支援の実践を進めているが、理念をパンフレットでうたっておらず、家族や地域住民に周知されていない。	理念をパンフレットに記載して、本人・家族や地域住民に周知できるようにする。また、法人理念を基にした『五根の家の5原則』を事業所内に掲示してスタッフ間で常に動機づけ出来るようにする。	現行のパンフレットを理念の記載したものに改定し、見学時や事業所の案内をする際に、理念についても説明出来るようにする。また、法人理念を基にした『五根の家の5原則』を事業所内に掲示して、スタッフ間で常に目で確認しながら動機づけ出来るようにする。	2ヶ月
3	6	「身体拘束の排除」の意識を持って日々の支援に取り組んでいるが、パンフレットにうたっていない事で本人・家族や地域住民に周知されていない。	「身体拘束の排除」についてパンフレットに記載して、本人・家族や地域住民に周知できるようにする。	現行のパンフレットを「身体拘束の排除」を記載したものに改定し、見学時や事業所の案内をする際に、「身体拘束の排除」についても説明出来るようにする。	2ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。